

第3回 理事会 速報

平成30年9月12日
場所 協会事務所

理事会は、年8回開催されており、協会の運営、活動について協議しています。

その中の特に注目のトピックスを紹介します。

国立長寿医療研究センター・在宅連携医療部長の三浦久幸先生に協会顧問を委嘱することが理事会にて承認された。



顧問の設置については、5月の社員総会でも年度目標に挙げられており、

運営理事が中心となり、人選を進めていた。

三浦先生は、MSW業務にも関連がある

人生の最終段階における医療体制整備事業

愛知県地域包括ケア事業等に携わっている。

今後は協会運営に対する相談・助言、定時

社員総会等への出席などで関与してもらおう予

定である。

愛難連・牛田氏 来所

9月12日の理事会前にNPO法人愛知県難病団体連合 事務局長の牛田正美氏が協会事務所に来所され、愛難連の活動紹介を中心に説明された。(写真 左上が牛田氏)



今年度の事業計画に「当事者支援団体との連携、強化」が掲げられており、この機会が設けられた。

団体結成からの歴史と経緯、取り組み内容等の説明は当協会としても

参考となる内容であった。

今後は理事だけでなく、会員全般にも知って

AMSW 走回(相談?) 結成

保証人問題委員会のメンバーが中心となってチームを作り、マラソン大会への参加が企画されている。協会のロゴの入ったTシャツを着て、全国各地のマラソン大会に参加することで、県民・市民へ協会のPRにつなげられる狙いである。

直近では、9月22日にナゴヤドームで開催されるリレーマラソンに参加する。

今後は他にもメンバーを募ることも予定している。

もらえる機会を設けることを検討している。今回の理事会には、NPO法人高次脳機能障害者支援センターの笑い太鼓の方が来所予定である。

認定社会福祉士医療分野別研修を 企画中

認定社会福祉士新規申請において、医療分野で取得するためには日本医療社会福祉協会研修ルート以外では、分野専門研修(医療分野)での単位取得が必要である。そこで来年3月、愛知県社士会と当協会の共催で開催することとなった。

愛知県で開催されるため、受講もしやすい。認定社会福祉士を目指す会員にとって、取得ルートの選択肢が増えることになる。詳細はまた改めて案内される。



第3回理事会の議事録は、会報誌16号(2月末発行予定)に掲載されます。詳細はそちらをご覧ください。